

○Web サイトにオプトアウトする書式

うっ血性心不全患者におけるサルコペニアについての検討

○研究の概要

うっ血性心不全患者におけるサルコペニアは、34～66%程度にみられ、予後規定因子です。サルコペニアの対策としては、栄養療法や運動療法が重要です。サルコペニアの診断には、骨格筋量の評価が必要であり、二重エネルギーX線吸収測定法（DXA）や生体電気インピーダンス（BIA）法がありますが、評価を行うには、高額な機器やマンパワーが必要となります。このことから、限られた人的資源の中で、早期にリスク患者をスクリーニングし対応することは重要であり、臨床現場で日常的に観察項目として用いられる身体活動・生活環境との関連については、不明な点が多いです。

これらサルコペニアと在院日数、入院時の身体活動・生活環境との関連を調査することは、栄養療法と運動療法を行なっていく上でも重要と考えます。

本研究は、下腿周囲径および握力より診断したサルコペニアの有無による在院日数の調査と、日常の観察項目として用いられる入院時の身体活動・生活環境（ADLや介助状況、独居の有無、服薬状況、栄養状態）との関連を調査することです。

○研究の目的と方法

本研究の目的は、うっ血性心不全患者さんの下腿周囲径および握力より診断したサルコペニアの有無による在院日数の調査と、日常の観察項目として用いられる入院時の身体活動・生活環境（ADLや介助状況、独居の有無、服薬状況、栄養状態）との関連について検討することです。日常診療で得られた臨床データ（年齢、性別、身体所見や生化学検査など）を電子カルテから集計・統計分析を行う後ろ向き研究です。

○本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

○調査する内容

本研究は、令和4年7月1日～令和6年3月31日の期間中、国立病院機構熊本医療センターに入院しうっ血性心不全の治療を行った患者さんを対象としています。新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究終了後の収集したデータは、鍵をかけたファイルにて5年間保管ののち、破棄いたします。

○実施期間

研究対象期間：令和4年 7月 1日～令和 6年 3月 31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 8年 3月 31日まで

○研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室
加來正之

○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 加來正之

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 加來正之
電話：096-353-6501